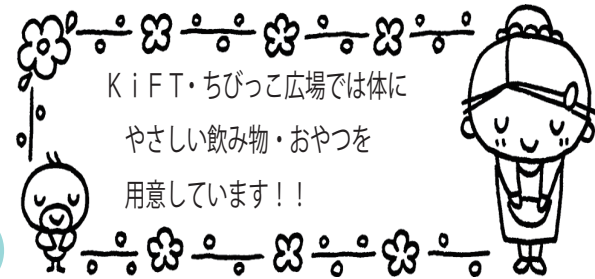


応援します。なかよし親子

Come Come



2026 年 9 月号

☆年齢別絵本の選び方のポイント☆

0～1歳（赤ちゃん期）

特徴：音や絵を楽しむ時期です。

選び方：色彩が豊かで、絵が大きく、言葉が少ない絵本がオススメです。触って楽しめる布絵本や、音が出る絵本も良いでしょう。



1～2歳（幼児前期）

特徴：日常の体験が増え、簡単な言葉の理解が深まります。

選び方：「ワンワン」「ガタンゴトン」などの擬音語や「きらきら」「にこにこ」などの擬態語が多く、真似をして楽しめるような絵本が良いでしょう。日常生活の出来事に関連する絵本も興味を持ちやすいです。



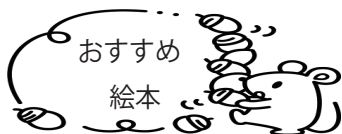
3～4歳（幼児期）

特徴：ストーリーを理解し、共感する力が高まります。

選び方：ストーリー性があり、先が気になる展開の絵本や、登場人物の気持ちに寄り添える絵本がオススメです。生活習慣に関する絵本もこの時期に役立ちます。



絵本の紹介



『おやさいとんとん』 作・真本文絵 / 絵・石倉ヒロユキ 社・岩崎書店

にんじん、たまねぎ、じゃがいも、ブロッコリー！食卓によく出てくる野菜たちが、とっても可愛い絵で登場します。水で洗ってトントン切って…みんな鍋に入ります。できあがりの野菜カレーにうっすら野菜の形が見え隠れして、まるで探し絵のよう。お野菜に絵本から親しめます（*^_^*）

『さわってあそぼう ふわふわあひる』 作・M.ヴァン・フリート 社・あかね書房

黄色の丸はふわふわ、茶色の三角はでこぼこ、青い三日月はざらざら…と、色や形とともに手触りが楽しめるしかけ絵本です（*^_^*）ページをめくる度に違う素材が表れ、手で触ることに興味が出てきたお子さんにぴったりです。



『たべたのだあれ』 作・五味太郎 社・文化出版局

ぐんぐん言葉を吸収してどんどん使ってみたい時期には、聞くより言うことができる絵本が活躍します。「たべたのだあれ？」と聞かれているので見つける楽しさ、それを伝える楽しさが味わえる絵本です。



ゆうゆうK i F T（児童クラブ解放日）のお知らせ

9月の解放日…18日（金）10：00～11：30 キャンドル教室

10月の解放日…23日（金）10：00～11：30 骨盤体操教室

興味のある方はスタッフまで（*^_^*）

